

◆三愛病院広報誌◆



太陽の光が明るくきらきらと輝くさま。

三愛病院が地域の中で燦燦と輝くことを目指して名づけました。

さん さん
燦 燦

No.5

2005・12・15

発行元：広報編集室

医療法人社団三愛会 三愛病院



わさだフォーラム&院内研究会の様子

目次

2・・・わさだフォーラム&院内研究発表会
Dr.紹介

3・・・看護部が取り組んでいる院内勉強会について
ボランティア募集

4・・・部署紹介（診療情報管理室）
ご意見箱に対するQ&A

5・・・Enjoy ER Class開講について
インフルエンザ予防接種のお知らせ

6・・・敬老祝賀会にて出前講演！！

第2回わさだフォーラム・第12回院内研究発表会合同開催

地域医療連携室 割石圭亮

第2回わさだフォーラムと第12回院内研究発表会が平成17年11月10日（木）に特別養護老人ホーム・そ
うだ藤の森で合同開催されました。

わさだフォーラム ◎特別講演【座長：玉井文洋】

地域の医師およびコ・メディカルの方々をお招きして医学・医療の身近な問題を勉強する今回のフォーラム
では北九州市の健和会大手町病院から講師をお招きし、救急看護・嚥下障害をテーマに講演をしていただき
ました。どちらも医療現場で興味のある問題でもあり、職員をはじめ地域医療機関の方々も熱心に耳を傾け
ていました。今後もこのようなイベントを定期的に行ない、地域との連携を深めていきたいと思います。



『救急看護－救急医療活動の実際』
・健和会大手町病院救急外来看護主任
高松祐子先生



『嚥下障害とリハビリテーション』
・健和会大手町病院耳鼻咽喉科部長
仙田直之先生

院内研究発表会 ◎一般演題【座長：河内正人・小出好子】

第12回を迎えた院内研究発表会では、三愛会の各部署・施設より総計9題の発表がありました。さまざまな
視点での発表があり、例年のようにとても活発なものとなりました。

	所 属	発 表 者	演 題
1	薬 剤 部	山 田 雅 也	糖尿病患者への服薬指導－患者情報の重要性－
2	そうだ藤の森	國 師 博 子	逆デイサービスの取り組み
3	患者様相談室	園田アキエ	入院したい病院を目指して－患者アンケートの取り組み－
4	M E 部	益 田 英 治	輸液ポンプの定期点検を開始して
5	地域医療連携室	伊 田 貴 美	地域医療連携室のこれまでの取り組みと今後の課題
6	ケアセンター	石 田 聡	作業療法士の取り組みについて
7	看護部外来	土 橋 奈 美	看護に視点をおくための記録を試みて
8	医療安全委員会	高松るり子	医療事故件数の調査報告－アクシデント・ヒヤリハット報告－
9	透 析 室	川浪小百合	当職員における臓器移植に対する意識調査

Dr.紹介



＜＜最高顧問＞＞野村 芳 雄

本院で仕事ができるようになり大変光栄に思いますと共にうれしく思っています。顧問という過分
の職を頂き、医療連携業務を中心に役職に恥じないよう頑張る覚悟です。大学では泌尿器科診療と
腎不全医療を専門としていましたので、この領域で貢献できればと考えております。皆様と協力し
て本院にふさわしい最良の医療を実践できればと考えていますので宜しくお願いいたします。

プロフィール

所 属：泌尿器科（腎不全医療）
出身大学：熊本大学医学部
前勤務先：大分大学副学長
（大分大学名誉教授）
趣 味：登山、バードウォッチング、読書

看護部が取り組んでいる勉強会について

2005年11月から明豊高校（専攻科）の実習病院となり、学生の受け入れ準備を行ないました。それに伴い、以下のような目的を持って勉強会を企画しました。

- ① 看護現場の現況について看護理論を用いて指導できること
- ② 看護師が日々の看護を振りかえる機会とすること
- ③ 結果として日々の看護に裏付けを持ち、生き生きと実践できるようになること

講義は専門の先生にお願いしたいとのことで、大分大学医学部看護学科江崎フサコ教授に【ヘンダーソンの看護論】を依頼しました。江崎先生も趣旨に賛同して快く引き受けてくれました。1講義を2回に分けて全員の看護師が受講できる体制とし、10回の講義を8月～11月まで開催しました。講義時間は金曜日の業務終了後18:00～19:30の90分間、夜勤明けや休日の人たちも参加して1回の参加者は50～60名でした。学べる楽しさと、理論を裏づけに看護が語れることを学びました。又、江崎先生の講義は驚くほど力強く、豊富な知識のもと専門職としていかに成長して質の良い看護師になるか、後輩となる実習生に看護師の背中を見せることの重要性などを教えていただきました。現場の看護師も受講して看護をもう一度理論から振り返ることができました。今後は実習病院として更なる向上を目指し、フォローアップ研修を企画していきたいと考えています。



病院ボランティア大募集!!

病院ボランティアって?

来院時、病気で不安を抱えている方や病院内部がわからなくて困っている方、治療法や病気のことを知りたいと思う患者さまに対して手を差し延べ、良好な環境のもとで安心して治療できるように奉仕することです。

病院ボランティアとは病院職員の手助けのための活動ではなく、患者さまのために行うものです。



資格とがはいるの?

特別な資格はいりません。
重要なことは、ご自身が無理をせずに出来ることを楽しみながら継続されることです。

どんな活動内容があるの?

- ・各外来診察室や検査室等への患者さまのご案内
- ・車いすの患者さんの移動のお手伝い
- ・患者さまやそのご家族が病気について知りたい時に病院の中で調べることができるコーナーでの援助
- ・その他、笑顔を絶やさず患者さまに接することなど

新病院ではボランティアの方々のための部屋を完備しており、「患者さま情報室」と呼ばれるスペースもあります。患者さま情報室では医学書、闘病記など病気に関する図書やビデオ・DVD、パンフレットなどを用意し、患者さまやそのご家族が日々立ち寄れる憩いの場・情報収集の場として設けられています。新しい病院でボランティアの灯をともしませんか?多数のご参加お待ちしております!

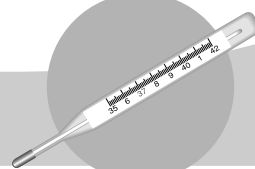
お問い合わせ先・詳細は

看護部長: 小出 TEL 097-541-1311 (代表)
地域医療連携室: 割石 TEL 097-542-7404 (連携室直通) まで

随時
募集

◎ 部署紹介 ◎

診療情報管理室



診療情報管理士 和田 かよ子

「診療情報管理室？」何それ？と思われる方が多いのではないかと思います。

院内での立場は、院長直属の配置となっています。皆さんが「カルテ」と称しているものを私たちは医師以外のスタッフの方々の記載も記入されていることから、「診療録」と呼んでいます。今後皆さんも、「外来診療録」「入院診療録」と呼び方を変えていかれるといいなと思っています。

私のモットーである「診療録は、医師、看護師、薬剤師など皆様による病気との闘いについての人間的記録であること、患者様とご家族の喜びや悲しみの記録であることを忘れない。」の下に管理を行っています。

診療録の価値は

- 1.診療の場
- 2.医療機関の運営管理の場
- 3.医療保険の場
- 4.訴訟の場



5.医療従事者の教育・研究の場
6.医療行政の場
など幅広い分野で活用されています。アリバイ管理、精度管理を行い、質の向上（院内のみでなく地域医療にも貢献できるような）のために統計をとり、提供しています。本年4月より準備しているところですが、関連の管理規定を作成したり、診療録の中から様々な情報を収集したりと日々奮闘中です。新病院に向けて精度の高い管理ができるように努力していきたいと思っています。



ご意見箱に対するQ&A



外来看護師の診察室での言葉使いと態度について

Q 外来看護師の態度・言葉使いが悪いと思います。診察室で馴れ馴れしく医者と話す声や、待たされているのに話し声などが聞こえて不愉快でした。

A 貴重なご意見ありがとうございました。早速、看護部長を通じて担当部署に指導を入れました。不愉快な思いをされご迷惑をお掛けしました事、大変申し訳ございませんでした。ご意見をいただき、外来看護師全員、自分を振り返ることができました。朝の申し送りの際、常に意識するようにしました。今後とも宜しくご指導下さい。

寸志について

Q 主治医の先生をはじめ、皆様方には良くしていただき心より感謝しています。でも退院する時の事を考えると心配します。お礼をいくらあげたらよいのか？何をあげたらよいのか？など困っています。

A 貴重なご意見ありがとうございました。退院に向けてご心配をお掛けした事、大変申し訳ございません。病院でも事態を重く受け止め、院長はじめ各部署で、患者様にご心配をかけないように検討すると共に、職員全員に周知徹底できるようにしました。対応策として、お心遣いは一切いらない旨を入院案内でお知らせする事と、エレベーターの中など院内に掲示する事に致しました。

Enjoy ER Class 開講について

救急科 玉井 文 洋

2005年より救急科を設置し、救急医療への本格的な取り組みを行っていくこととなりました。しかし、内部事情にはやはり、救急医療を行うにあたってスタッフの知識や体制が十分ではなく、これでは救急患者に対し十分な医療提供ができないと思われました。そこで、職員向けに学習会を行うこととしました。ここで問題は、救急医療・集中治療に関心がないスタッフにも、なるべくおもしろく興味わくテーマとし、一方的な学習会ではなく参加型の学習会とすることでした。学習会には看護師中心に毎回30～40名ほど参加して頂き、時折笑いを交えながら楽しく学んでいます。

とにかく、まず救急医療・集中治療を知って頂くことから始めています。そして、広まっていけば何よりです。



- ・対 象：三愛病院全職員（希望者）
- ・日 時：8時より15分間
- ・場 所：カンファレンスルームまたは外来処置室

Enjoy ER Class

2005年 10月

回	Date	Class 内容
1	10月5日	・頸椎カラー どう使うの？
2	10月7日	・バックボードって何？
3	10月12日	・超音波で何が見えるの？
4	10月14日	・ホットラインから救急車到着までが勝負！
5	10月19日	・shockって？
6	10月21日	・バックパルプマスクの使い方は？
7	10月22日	・気管挿管の準備と解除 どうするの？
8	10月25日	・A E Dって何？

2005年 11月

回	Date	Class 内容
9	11月2日	・救急外来で患者を死なせない為に
10	11月5日	・「振り分けスタッフ」ではなく「トリアージスタッフ」になろう
11	11月9日	・救急セットになぜ骨髓穿刺針が入ってるの？
12	11月10日	・救急対応（病棟編）
13	11月11日	・災害① トリアージタック 何それ？
14	11月16日	・除細動器はどのように使用するの？
15	11月18日	・基本編① 輸血 1パック何単位？
16	11月19日	・基本編② カテコラミンについて
17	11月25日	・基本編③ 胸腔ドレーンバッグについて
18	11月30日	・1次救急患者は問診がすべて

インフルエンザ

の予防接種について

今年もインフルエンザの予防接種を11月1日よりはじめました。

予約の必要はありません。体調の良いときに受けてください。

13歳未満のお子様は、2回の接種が必要です。

午前中は、一般診療の患者様で混雑しますので、

木曜日、日・祝日以外の14時～17時頃をお勧め致します。

なお、17:30以降は原則として受け付けできませんのでご注意ください。



外来師長 土橋 奈美

敬老祝賀会にて出前講演！！

去る9月18日宗方台公民館において敬老祝賀会が開催されました。転倒予防の講演をリハビリ部志賀主任にしてもらい、当院についての意識調査アンケートなども行いました。

地域住民との交流活動の一環として取り組みましたが、とても良いふれあいができました。

参加した高齢者の方が転倒予防体操などを行っている姿がほほえましかったです。アンケートでは、待ち時間が長いなどの注意を受けたり、新病院に期待しているなどのご意見があり、地域住民が病院をどのように感じているかを感じることができて非常に有益でした。今後、このような活動は地域医療連携室が窓口となり、積極的にどんどんしていきたいので、地域の集まりなどで医療・病気などについて講演をしてほしい方は地域医療連携室スタッフまでぜひお問い合わせください。（TEL：097-542-7404まで）



三愛病院までの交通手段



自家用車で来院される場合

大分市内（大分駅）より車で30分
庄内町より車で40分
野津原町より車で10分
大分自動車道光吉ICより車で10分
佐賀関より車で60分
別府より車で60分

公共交通機関（バス）をご利用の方。

下片バス停下車 徒歩 1分
庄内町から
木の上経由 大分県庁前行きをご利用ください。

□□□グループ施設□□□

三愛病院

〒870-1151 大分市大字市566-3
TEL 097-541-1311 FAX 097-541-5218

庄内診療所

〒879-5421 由布市庄内町大字柿原字原280番1
TEL 097-582-3600

のつはる診療所

〒870-1203 大分市大字野津原906-1
TEL 097-588-1311

介護老人保健施設 わさだケアセンター

〒870-1151 大分市大字市字大坪11番地の2
TEL 097-541-6655

わさだ訪問看護ステーション

〒870-1151 大分市大字市字大坪11番地の2
TEL 097-541-7007（わさだケアセンター内）

大分市在宅介護支援センター わさだ

〒870-1151 大分市大字市字大坪11番地の2
TEL 097-541-1470（わさだケアセンター内）

特別養護老人ホーム そうだ藤の森

〒870-1123 大分市寒田202番地
TEL 097-567-8822